

がんばれ！佐世保西高57回生

校長 城 美博

昨年度の本稿に「がんばれ！佐世保西高56回生」という一文を寄せました。あれから1年が経つのかという感慨とともに、57回生の奮闘と成功を、校長として心から祈らずにはられません。今年は異例の温かさの中、大学入学共通テストが、去る1月14日(土)、15日(日)の両日に実施されました。

57回生の皆さんは、すでに自己採点・三者面談を済ませ、次のステップを見据えて前を向いているところだと思いますが、やはり、胸の中には小さくない波が立っているのではないかと推測します。共通テストで思い通りの得点ができなかった悔しさや、出願校を決定する際に押し寄せるためらいや戸惑い、出願校を決定しても本当に合格できるのかという不安など、どちらかというとながティブな感情の方が支配的なのではないでしょうか。

1月13日(金)に行われた激励集会の中で、私は、①「全力を尽くすこと」②「結果を受け入れること」③「次のステップに踏み出す覚悟をすること」を念頭に置いて本番とその後を臨むよう、57回生の皆さんに伝えました。皆さんは共通テストについての心構えと捉えたかもしれませんが、実はこのことは、私が日常の仕事に臨む際に常に念頭に置いていることなのです。そこには、私がかつてある先輩から聞いた「高校生の頃の経験は、社会に出てからの予行演習である」という言葉が根底にあるのです。

人生の中で、理不尽な扱いを受けずに越したことはありませんが、世の中は時として、「どうして私だけに、しかもこんな時に」というため息が出てしまいそうな理不尽な試練を課すものではないでしょうか。そんな時に、成長していく過程の中で培われた「耐性」が大きな力を発揮する、そしてそのような経験を積んだ人は、困難に臨んでも様々な手段を講じてそこから抜け出し乗り越えようとするという趣旨であろうと思います。

私はこの言葉を聞いて、得心が行くと同時に、自分の来し方を振り返り、私の母校佐世保西高校での3年間(私は15回生です)の経験がそれ以後の人生の中で大きな力となっていることを実感しました。高校時代という「守られた境遇」の中では、できるだけ自分を鍛えておいた方が、むき出しの社会の荒波にもまれるときに耐性がついているに違いない、このことは間違いないのではないかと思います。

「高校生の頃の経験は、社会に出てからの予行演習である」。厳しい現実から目を背けず立ち向かった経験は、人生の中で決して小さなものではないはずです。これから長く続く人生の中で何度か訪れる「正念場」を、今初めて経験している57回生の皆さんに、私は心から声援を送りたい。

声を大にして言おう。 **がんばれ！佐世保西高57回生**

大学入学共通テスト (3学年主任:萩原 広太)

57回生215名が、1月14日(土)と15日(日)に長崎県立大学佐世保校で、大学入試の第一関門である大学入学共通テストを受験しました。感染拡大防止のため会場に入場制限がかかる中、生徒たちは、駆けつけてくださった先生方の応援を受けながら会場入りしました。大学構内では、参考書で最後まで余念なく確認をしたり、リラックスするために談笑したりする姿が見られ、最後は担任の先生方に見送られて、受験会場の各教室へ移動しました。

これから進路実現に向けた戦いもいよいよ佳境を迎えます。最後まで粘り強く頑張っていきましょう。



[受験会場の確認]



[受験会場の教室へ向かう様子]



[諦めず直前まで学習する様子]

2月行事予定

1	(水)	高校入試前期選抜(生徒は2日まで自宅学習)
3	(金)	火曜日の授業、会場復元
4	(土)	進研マーク(2年、~2/5)、ハイレベル模試(1年)、特別講座(3年)
6	(月)	後期期末考査時間割発表、部活動禁止(~2/15)
9	(木)	ふるさと創生学年発表会(1年)
11	(土)	建国記念の日、特別講座(3年)
13	(月)	後期期末考査(1・2年、~2/16)
17	(金)	採点・評価日(1・2年自学)
18	(土)	特別講座(3年)
19	(日)	英検二次
23	(木)	天皇誕生日
25	(土)	国公立大学前期試験(3年、~2/26)
27	(月)	卒業式式場設営・礼法指導(午後、1・2年)
28	(火)	卒業式式場設営・大掃除 同窓会入会式 卒業式予行

百人一首大会

1学年の百人一首大会を1月12日(木)に行いました。毎年恒例の行事ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できず、2年ぶりの実施となりました。学年の先生方が読む札をよく聞き、真剣に札に向かう姿が印象的でした。この機会に、日本の伝統文化に関心を持ってほしいと思います。

【結果】

1位 1年3組

2位 1年1組

【個人成績】

1位 小川葉奈 (32枚)

2位 大島理沙 (26枚)

3位 大岩奈央 (25枚)



部活動の結果報告

<陸上部>○第71回小柳賞佐世保シティロードレース大会 3Km 高校女子の部 優勝 1年 齋藤礼佳

<女子ハンドボール部>

○第3回みやざき整骨院長杯長崎県高等学校男女ハンドボール選手権大会 第2位

<弓道部> ○第27回佐世保市長杯弓道大会

女子団体 準優勝 (2年古部由伎与、松岡千聡、1年今村奈緒子)

女子個人 優勝 2年 松岡千聡、第3位 1年 廣山莉帆、第4位 1年 秦万優

男子個人 優勝 1年 橋本龍之介、準優勝 1年 岩城陸斗

<吹奏楽部> ○JBA九州ソロコンテスト予選第11回 JBA長崎県ソロコンテスト

管楽器部門(フルート) 銀賞 1年 森麗恩

<その他>○令和4年度明るい選挙啓発ポスター作品

明るい選挙佐世保市推進協議会会長賞 2年 吉原藍花

入選 2年 末吉隆志、山口はな 佳作 2年 林寧々

○令和4年度明るい選挙啓発書写作品

特選 1年 菊田優花、塚本初音、2年 小松日菜

入選 1年 氏田媛奈、角田亜矢

○第3回高校生条例案コンテスト

CHALLENGE JAL賞 いつも心に、チャレンジを

2年 釜本真杜、古閑真実、古部由伎与、坂本真菜、相良昂平

国内研修旅行報告

(2学年主任:峯悦子)

12月13日~16日の4日間の日程で南九州地方(主に鹿児島県・熊本県)を中心とした国内研修旅行を実施しました。当初は、ベトナム研修旅行の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて行先や内容を大きく変更しての実施となりました。熊本城見学や、鹿児島市内自主研修、グリーンランドでの自由行動などを通じて研修を深めることができました。コロナウイルス感染症拡大の中でしたが、多くの方々のご協力のもと研修旅行を実施できたことに心から感謝申し上げます。

1日目…8:00に学校を出発し、熊本市内で昼食後、最初の目的地である熊本城に到着しました。熊本城ではガイドの方々による説明を受けながら、敷地内を散策しました。また、わくわく座にて防災・減災に関する講話を聞きました。

2日目…鹿児島市内自主研修を行いました。行先としては、桜島やおワールドかごしま水族館、天文館などが人気でした。また、昼食時に黒豚とんかつや白熊などご当地グルメを堪能する様子が印象的でした。

3日目…仙巖園と知覧特攻平和会館に行きました。仙巖園では雄大な桜島を背景に記念写真を撮ることができました。知覧特攻平和会館では、77年前にこの地で起こったことについて、ガイドの方のお話や、施設の見学を通じて学ぶことができました。また、この日の昼食は奄美の里にて奄美地方の郷土料理である鶏飯を食べました。

4日目…グリーンランドにてアトラクションを思う存分楽しみました。出発前からこの日の天気は心配されていましたが、当日雨が降ることはありませんでした。本当に良かったです。

～生徒の感想より～

- ・私は中学生の頃に修学旅行がありましたが、半日で県内だったので県外に行くことができるだけでも十分嬉しかったです。「どこに行くかより、誰と行くか」という言葉の意味も理解でき、人生最後の修学旅行は本当に大切な思い出になりました。
- ・熊本城は完璧な状態ではなく、まだ一部壊れている状態でしたが、逆に今しかその状態を見ることができないので貴重な体験をすることができました。
- ・鹿児島自主研修は全部自分たちで考えて自分たちだけで行動するのが不安でしたが、楽しく終えることができました。
- ・仙巖園から見た桜島は写真より数倍きれいで、とても素敵な場所でした。
- ・知覧特攻平和会館はこれまでも訪れたことがありましたが、高校生になって行ってみるとまた違った視点で学ぶことができました。
- ・本当に研修旅行で観光もしましたが、人のつながりと努力の上で私たちの旅行と幸せ、新たな出会いが生まれたことに感謝です。家に帰ってすぐに母にありがとうと伝えました。
- ・この58回生で修学旅行に行くことができ本当に良かったです。
- ・人生最後の修学旅行をこんなにも楽しいものにしてくれたことに本当に感謝です。
- ・各食事での挨拶や結団式、解団式での挨拶など、58回生で良かったなと思いました。厳しい状況の中、研修旅行を実施してくださり、本当にありがとうございました。



↑修学旅行中の様子